

## 第2回 栗東市公の施設指定管理者選定委員会 会議録

【日 時】 令和3年7月30日（金） 18:50 ～ 20:10

【場 所】 栗東市役所3階 談話室

【出席者】 栗東市公の施設指定管理者選定委員会委員：

瀧昭一会長、田中和子副会長、山本秀人委員、井上和子委員、  
齋藤真季委員、宇野茂樹委員、中嶋勇委員、（欠席：種田耕一委員）  
栗東市（事務局）：障がい福祉課 山形

【内 容】

### 1 開 会

### 2 市民憲章唱和

### 3 あいさつ

- 瀧会長あいさつ

### ◎ 委員8名中7名の出席により、栗東市公の施設指定管理者選定委員会設置規則第5条第2項の規定に基づき本選定委員会の成立について報告

### 4 選定方法の確認について

- 事務局より資料（P2～P5）に基づき説明
  - ・本日の選定委員会は、「運営タイムスケジュール」のとおり進める。
  - ・プレゼンは、準備5分間、プレゼン15分間、質疑応答10分間とする。
  - ・プレゼン終了後、20分の採点・休憩時間を設けている。その間に事務局で集計を行う。
  - ・プレゼン終了後に選定会議を行い、指定管理者候補者を選定していただく。
  - ・採点は、前回の選定委員会で決定した「指定管理者選定基準採点表」により、項目ごとに、採点基準に基づき、1点から5点までの点数を付けていただきたい。併せて、評価コメント欄についても、事業計画書及びプレゼンの内容で高く評価した点などについて自由に記入していただきたい。
  - ・指定管理者候補者の選定方法は、今回は、1団体からの申請であったため、採点結果により、適合と判断した（90点以上の得点を付けた）委員が採点した全委員の過半数であった場合に、その申請者を指定管理者候補者に選定する。
  - ・採点結果は、「指定管理者選定得点集計表」により取りまとめ、皆様にお配りする。
  - ・採点結果により選定した申請者を指定管理者候補者とするを基本とするが、皆様の協議、意見交換を経て最終的に決定していただきたい。

<質問事項>

- ・特になし

5 申請者プレゼン・選定委員採点について

・栗東市障害児地域活動施設

- 申請者（特定非営利活動法人 チョー栗東元気玉クラブ：澁江理事長、林副理事長）より事業計画書等に基づきプレゼン

<主な内容>

- ・平成16年7月から栗東元気玉クラブ保護者会が栗東市より指定管理者の委託を受け運営主体となる。また、平成18年11月に特定非営利活動法人を設立し、平成19年度から栗東市障害児地域活動施設の指定管理者の指定を受け、運営を行っている。なお、平成28年4月より、栗東市在住の障がい児を対象とした児童福祉法に基づく放課後等デイサービス事業を開始した。平成29年度から5年間の指定管理者の委託を受け運営している。
- ・クッキング、制作活動を通して自立を促し、音楽療法、雷太鼓等を取り入れた療育活動や近隣の施設と連携し、地域交流を図っている。
- ・指定障害児通所支援事業（放課後等デイサービス）の規定に基づき、利用者が日常生活における基本的動作及び知識技能を修得し、集団生活に適応することができるような指導訓練、支援の環境を整えていくことを管理運営の基本方針としている。
- ・ホームページ等にて情報を発信することにより、市民サービスの向上に努めている。
- ・児童福祉法に基づく指定通所支援の事業等の人員、設備及び運営に関する基準以上に人員を配置し、細やかな支援を行っている。
- ・(普段の活動の様子（クッキングや音楽療法など）、地域との交流の様子についての写真を見てもらう)

<質問事項>

委員：指定管理を受ける前から活動をしておられ、比較的障がいの程度の重い児童も受け入れをしていると思うが、通常の法人であれば障がいの程度の重い方の受け入れは障壁を感じることもあるかと思う。そのあたりでの苦労についてあれば教えてほしい。

→今年度に関しては車いす対応の方はいない。過去には全介助で車いす対応の方もいた。施設はバリアフリーでトイレも2つあるので、対応は可能。

今は、聴覚障がいのある子も利用しており、言葉でのコミュニケーションが十分に取れない子も利用している。職員全員が障がい特性を十分に理解できていない面もあるかもしれないが、年数をかけて、たぶんこうではないかと想像しながら支援をしている。月に1回職員会議で障がいの特性の勉強会を行い、この子にはこの支援の方法があるのでないかということは職員間で日々の中で共有している。

委員：障がいを持つ親御さんからすればありがたい。一番の苦労と感ずるのは何か。

→子どもが何を求めているのかわからない、わかってあげられないことが苦労と思う。

言葉のコミュニケーションが取れる子でも、本当にその言葉通りとってもいいのか、ということもある。

会長：経営面での苦労は？

→重度になればなるほど職員がほぼマンツーマンで対応している。基準では10人に対して2人の職員がいれば成り立つことになるが、それではとても難しい。かなり人件費がかかっているといえる。

委員：親御さんの願いとは？

→人によって違うが、一番は楽しく過ごしてほしい、ということ。学校でも家でもない、第3の居場所ということで、家庭では経験できないことはたくさんあるかと思う。また、所属や学年の違う友達などと過ごす中で、色々な経験をして一つでも自分ができることを増やしてほしいと思っている保護者の方が多いと思う。

委員：コロナ禍で難しいが、地域との関わりについての思いについて聞かせてもらいたい。

→ふれあいまつりやレクスポ、ボーリングなど以前は参加していた。コロナが収束したら地域でのイベントには積極的に参加したいと思っている。

## 6 候補者の選定について

### ● 事務局より指定管理者選定得点集計表及び資料（P6～P8）に基づき説明

- ・栗東市障害児地域活動施設については、採点した全委員が「特定非営利活動法人 チョー栗東元気玉クラブ」を指定管理者として適合であると判断した。また、平均得点は、124.7点であり、適否基準点の90点以上であった。
- ・各委員の採点時のコメントについては、指定管理者選定得点集計表に一部記載し、各委員に配布、その他のコメントは時間の都合上、事務局が報告した。
- ・選定委員会から市長への選定結果報告は、「選定結果報告（案）」により、採点結果、選定結果、講評等を記載したうえで行う。

### ◎ 栗東市障害児地域活動施設については、「特定非営利活動法人 チョー栗東元気玉クラブ」を指定管理者候補者に選定

### ◎ 選定結果報告の内容は、会長に一任することに決定

委員：指定管理以前から長年携わってきており、大変能力が高いと思う。時間があまりなかったが、スライドを見ても独自の取組みが行われており、指定管理者としてふさわしいと思う。

委員：重心の児童を受け入れているのを実際見ている。本当に丁寧に支援をされている。常勤の先生が少ないので、非常勤の先生でまわしている状況だと思うが、安定的な運営がなされればよいと思う。

委員：子どもの障がいの特性を理解するために苦労されていると思う。

## 7 その他

● 事務局より事務連絡

- ・ 今後は、8月上旬に市長に選定結果報告を行い、市として指定管理者候補者を決定し、9月議会定例会で指定管理者の指定についての議決を経るべく事務を進めていく。
- ・ 選定委員会は、今回で最後の予定であるが、委員の任期は、当該公の施設の指定管理者の指定を行う日までとなっているので、またお集まりいただくこととなった場合は、よろしくお願ひしたい。
- ・ 選定委員会で知り得た秘密や個人情報には他に漏らさないようお願いしたい。これは任期満了後においても同様である。
- ・ 委員の皆様にお支払いする報償については、7月27日と本日の2回分をまとめて、確認をさせていただいた口座に振り込みをさせていただく。
- ・ 申請者からの提出書類は、選定委員会閉会後に回収させていただく。

## 8 閉 会

● 田中副会長あいさつ